

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
北空知広域水道企業団	水道事業	—	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続 ●
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

現在の事業運営については、現行の経営体制・手法で健全な事業運営が実施できている。今後の事業運営にあたっては、人口の減少等による供給収益の減少、あるいは、施設の耐震化対策や老朽化に伴う更新需要の増大、及び物価上昇等に伴う費用の増加等、水道事業を取り巻く環境はさらに厳しさを増すことが予想されるため、当企業団では、経営戦略に則り、施設規模の適正化や設備毎のメンテナンスレベルの変更等によって可能な限りトータルコストを削減し、中長期的な視点に立った経営に一層努めながら、引き続き構成市町と連携し、水道水の安定供給を図っていく。